

11～12月供給の地元農産物の「放射能測定結果」をお知らせします！

～地元の農産物は全て「検出下限値1Bq/kg以下」不検出です！～

毎週の『ひまわり』と共に、放射能汚染に立ち向かう各ローカル生産者の姿勢や考え方など随時お伝えしています。

そんな中、私たちは11月2日に「第6回ローカル生産者交流会」を開催し、「(あぶくまGAP改め) ぶくしまGAP」が提唱する『ぶくしま安心チェック』というシステムを、全ての生産者においても取り組むことで意思統一してきました。

この『ぶくしま安心チェック』とは、これまで地元生産者みんなで努力してきたように、“原発事故以前”に増して安全で高品質の農産物の供給を目指し、①土壌の除染、放射性物質の移入防止など、作付・栽培の「入口」段階から作物への放射性物質含有の根源を絶つ対策を履行していること、②通年において収穫する作物については(2週間に1回程度)継続的に検査を実施し、結果「1ベクレル以下不検出」の作物であること、③そして放射能汚染対策に限らず「ネオニコチノイド系農薬」など危険な薬剤は一切排除していること、大きくはそれらの「チェック項目」を随時確認・公開していくシステムです。

遅くなりましたが、その『安心チェック』においても安全性が確認できた、11～12月供給の地元農産物の放射性物質測定結果をお知らせします。

※「検出下限」に関して、私たちは核種の『合算値』で「1～5Bq/kg以下」での測定を行なうと共に、その上で「不検出」の(例えば乳幼児の離乳食としても)安心できる商品をお届けしていきます(もちろん測定の結果数値が出た場合でも必ずお知らせします)。

※「検出下限」は放射能測定機器の精度の違いと、検査時間によって大幅に左右されます。放射線は核種よりランダムに放出されるため、より時間を長く確保した方が精密な下限値となります。従いましてあいコープぶくしまでは精度の高い「ゲルマニウム半導体検出器」によって測定しています。

単位：ベクレル/kg

商品(対象試料)	生産者名	産地(場所)	採取日時	測定結果			
				ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	合算値
玄そば	湖南高原そば 振興組合	郡山市湖南町 (露地栽培)	11月	検出せず (<0,75)	検出せず (<0,94)	検出せず (<0,88)	—
キャベツ	おおもとG	三春町 (露地栽培)	11月	検出せず (<0,64)	検出せず (<0,75)	検出せず (<0,77)	—
ハクサイ	おおもとG	三春町 (露地栽培)	11月	検出せず (<0,69)	検出せず (<0,89)	検出せず (<0,78)	—
春菊	ぶくしま GAP	郡山市田村町 (施設栽培)	11月	検出せず (<0,88)	検出せず (<0,93)	検出せず (<0,81)	—
ネギ	ぶくしま GAP	郡山市田村町 (露地栽培)	11月	検出せず (<0,75)	検出せず (<0,65)	検出せず (<0,65)	—
ブロッコリー	ぶくしま GAP	郡山市大平町 (露地栽培)	11月	検出せず (<0,80)	検出せず (<0,77)	検出せず (<0,75)	—
大根	ぶくしま GAP	郡山市大平町 (露地栽培)	11月	検出せず (<0,86)	検出せず (<0,84)	検出せず (<0,83)	—
りんごふじ	吉田果樹園	須賀川市和田	11月	検出せず (<2,00)	検出せず (<2,00)	検出せず (2,00)	—

※これまで『ローカル商品のご案内』などでもお伝えしてきた通り、供給してきた「ジャガイモ」「ねぎ」(三春町・おおもとグループ)、「各種トマト」(須賀川市・岡部洋一)、「小松菜」「みず菜」(須賀川市・柳沼孝政)、「ミニキュウリ」(須賀川市・渡辺文雄)についても、「検出下限1Bq/kg以下」にて不検出の結果を得ています。

※尚、『野菜セット・愛菜箱』(福島県愛農会)については、各单品ごとに「検出下限5Bq/kg以下」にて測定し、不検出の結果を得ています。